

人文学部 川地 啓介 先生



奥野信宏、黒田昌義 著  
『リニア新世紀名古屋の挑戦』  
ディスカヴァー・トゥエンティワン、  
2017年7月  
【所在】 図・開架・図書  
【請求記号】 519.8/O56

2027年にリニア中央新幹線が開業すると、東京と名古屋がわずか40分で結ばれる。さらに、大阪へ延伸すると、沿線圏域の人口が約7000万人に達し、人口および経済規模で世界最大の広域都市圏が誕生し、私たちの生活スタイルを根底から変える可能性がある。本書は、リニア中央新幹線がもたらす影響を、東京ではなく名古屋に軸足を置いて考察しており、本学の学生にとって一読の価値がある。

教育学部 松本 昭彦 先生



若松英輔 著  
『井筒俊彦・叡智の哲学』  
慶應義塾大学出版会、2011年5月  
【所在】 図・開架・図書  
【請求記号】 120/W21

言語哲学(哲学的意味論)やイスラム学など幅広い分野で活躍した井筒俊彦の思想、研究を、批評家・若松英輔が紹介、解説した書。井筒は1993年に亡くなっているが、その仕事は、現代でも参照されるべきものである。特に、井筒の言語観は、「表層意識において理性が作り上げる言語哲学とは全然異質の、深層意識的言語哲学」に根ざすものであり、文学を読む際には重要な手掛かりとなる。

医学部 成田 正明 先生



神田卓朗 著  
『三重弁やん』  
風媒社、2018年1月  
【所在】 図・開架・図書  
【請求記号】 818.56/Ka51

三重に来てから10数年、少しは三重弁に慣れてきたが、系統だって学びたいと思っていた。そこへこの本。「そんなん食べやんやん」「いろいろ揃てるに」三重弁は奥が深かった!三重弁を知れば三重をもっと好きになる!言葉が語る三重県民の心の深さ!地元の学生も、地元ではない学生も必読の本。

工学部 小林 正 先生



住野よる 著  
『君の臍臓をたべたい』  
双葉社、2015年6月  
【所在】 図・開架・図書  
【請求記号】 913.6/Su63

臍臓の病気で余命いくばくもない女子高生の桜良と、その秘密を偶然知ってしまったクラスメイトの春樹のお話である。桜良の「死ぬ前にやりたいこと」に、春樹は付き合うことになる。普通はそうするだろうと思うかもしれないが、現実はそのようにならない。高校時代の仲間が肺病になり、よく会いに行っていたが、他の仲間はあまり会いに行かなかった。そのようなことも大学時代に考えて欲しい。

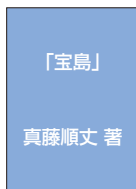
生物資源学部 船原 大輔 先生



ウェンディ・ムーア著;矢野真千子 訳  
『解剖医ジョン・ハンターの数奇な生涯』  
河出書房新社、2007年4月  
【所在】 図・開架・図書  
【請求記号】 289.3/Mo39

近代外科医学の父、ジョン・ハンターの伝記。彼は人間を解剖しまくった。死体泥棒のドンとしても有名。彼が手掛けた解剖が各章のタイトルになっていて面白い。第5章「教授の鞆丸」といった具合。観察して実験する科学的手法を外科医学に取り入れた。そんな彼をとりまく当時のイギリス医学界がひどい。いつの時代も権威は新しいものを拒むようだ。天才を感じたい人へお勧めの一冊。

教養教育院 赤岩 隆 先生



真藤順丈 著  
『宝島』  
講談社、2018年6月  
【所在】 図・開架・図書  
【請求記号】 913.6/Sh62

直近の直木賞をとった作品です。エンタメふうの作品でありながら、舞台はつねに問題含みの沖縄ということで、「沖縄人にとっての沖縄とは?」、「いわゆる本土の人にとっての沖縄とは?」といった問いについて考えるのに、絶好の一冊です。なんといっても、取り上げられている時代が、これまで触れられることの少なかったアメリカ統治下の沖縄ということで、その点でも意義のある作品となっています。頑張り、沖縄。